

自治研究

第九十八巻 第十號

令和四年十月十日発行

(禁 転 載)

論 説

フィデユシアリイ行政法の基礎理論(三)……………千葉大学名誉教授 鈴木庸夫 3

——原告適格・「自己の法律上の利益」に關係のない
違法主張制限解釈の混迷と辺野古公有水面理立承認

政策研究大学院大学教授 福井秀夫 26

緊縮財政下におけるフランスのオランダ政権の
地方自治制度改革に関する考察(八)

元自治体国際化協会パリ事務所長・とちぎ未来大使 山崎榮一 47

英国版道州制・都構想・特別自治市の成功と挫折、
そして未来への挑戦(八)

——サッチャー首相なら都構想より特別自治市への道

帝京大学教授・パミンガム大学名誉フェロー 内 貴 滋 76

循環基本法の(基本原則)からみた3R法の評価と課題(二)

——わが国における3R法の展開・再論

名古屋大学准教授 赤 淵 芳 宏 95

「財政上の地方自治」の保障規定(二六)

——九条以外の憲法改正の視点……………元岡山大学教授・元岡山市長 安 宅 敬 祐 112

研 究

ドイツのラント憲法・ブレイメン憲法(二)……………京都大学名誉教授 初 宿 正 典 122

佛教大學講師 宮 村 教 平 訳

行政判例研究会

行政判例研究(583)……………生活保護法七八条に基づく徴収決定処分通知書に記載さ

れた処分理由が、行政手続法一四条一項本文が求める理
由の提示の程度として不十分であるとして、同決定の取
消請求が認められた事例……………中央大学大学院 飯 田 森 142

ドイツ憲法判例研究(82)……………ドイツ憲法判例研究会

三五七 対IS作戦参加の為の連邦軍の国外出動……………駒澤大学教授 三 宅 雄 彦 152

資 料

第五次男女共同参画基本計画(二二)

——すべての女性が輝く令和の社会へ……………160